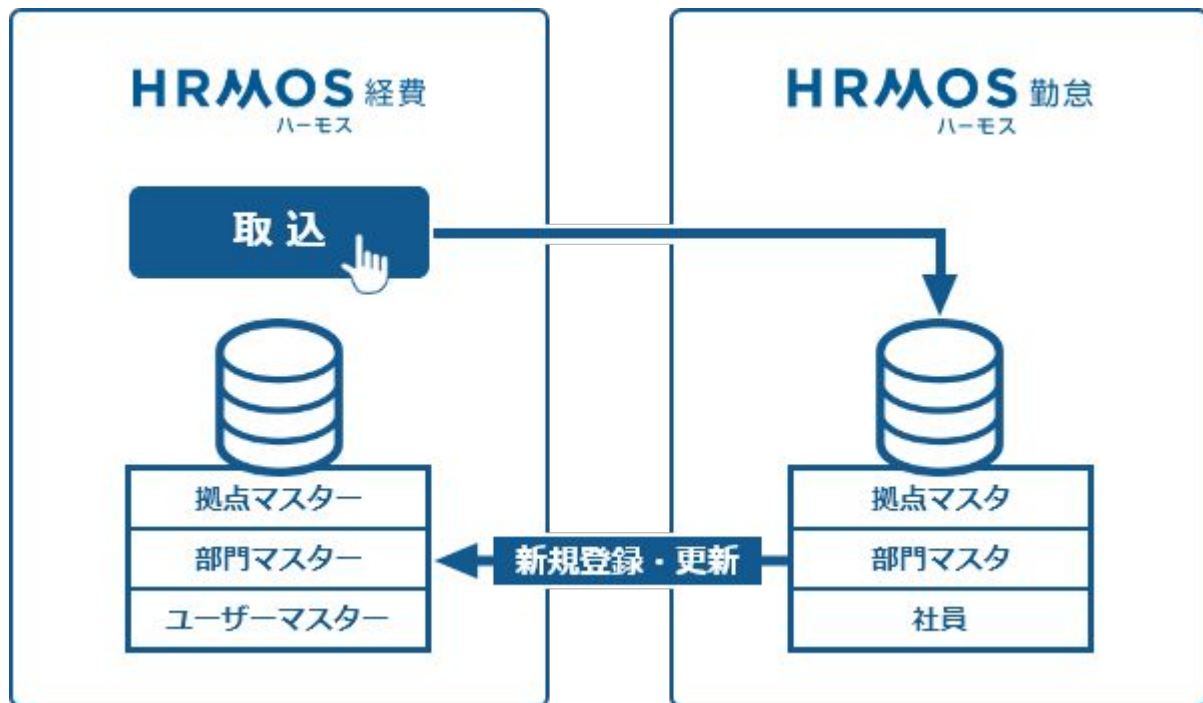


HRMOS勤怠マスター取込とは

HRMOS勤怠に登録している拠点・部門・社員情報をHRMOS経費に連携し、HRMOS経費のユーザーマスター/部門マスター/拠点マスターを新規登録・更新できます。



HRMOS勤怠マスター取込のメリット

- HRMOS経費の利用開始時、拠点マスター/部門マスター/ユーザーマスターの登録の手間を削減できます。
- 組織変更や人事異動が発生した際、HRMOS経費の画面上から拠点マスター/部門マスター/ユーザーマスターを更新する手間を削減できます。

HRMOS経費の以下マスターを登録しておらず、HRMOS経費をまだご利用開始していないお客様が対象です。

- ユーザーマスター
- 部門マスター
- 拠点マスター

【例】HRMOS勤怠を利用中で、HRMOS経費を新たに利用開始予定のお客様

以下に該当するお客様はご利用対象外です。HRMOS勤怠連携の機能利用設定を「利用する」には設定しないでください。

- ユーザーマスター/部門マスター/拠点マスターを既に登録してHRMOS経費を利用している
- HRMOS勤怠連携以外のマスター連携機能を利用する

ユーザーマスター/部門マスター/拠点マスターを既に登録してHRMOS経費を利用しているお客様がHRMOS勤怠マスターを取り込んだ場合

HRMOS経費への影響	以下はユーザーマスター/部門マスター/拠点マスターに登録されます。 <ul style="list-style-type: none">● 拠点コードとしてHRMOS経費に登録されていないHRMOS勤怠の拠点ID● 部門コードとしてHRMOS経費に登録されていないHRMOS勤怠の部門ID● ユーザーIDとしてHRMOS経費に登録されていないHRMOS勤怠の社員番号
復旧手順	HRMOS勤怠マスター取込によって登録された各マスターを、HRMOS経費のユーザーマスター/部門マスター/拠点マスター画面上で削除してください。

HRMOS勤怠マスター取込を利用しているお客様が他のマスター連携機能を利用した場合

HRMOS経費への影響	HRMOS勤怠マスター取込によって登録されていたユーザーマスター/部門マスター/拠点マスターは、他のマスター連携機能によって上書き更新されます。
復旧手順	HRMOS経費のユーザーマスター画面からHRMOS勤怠マスター取込を行ってください。HRMOS勤怠の社員情報/拠点マスタ/部門マスタの登録内容をもとに、HRMOS経費のユーザーマスター/部門マスター/拠点マスターが上書き更新されます。

HRMOS勤怠の各項目は、以下のようにHRMOS経費の項目として取り込まれます。

HRMOS勤怠		HRMOS経費		
項目名		項目名	取込の詳細	取り込めない場合
拠点 マスタ	拠点ID	▶ 拠点コード	HRMOS勤怠の拠点IDをそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランク ● 1～256以外の数値 ● HRMOS勤怠連携以外で既にHRMOS経費上で登録済の拠点コード
	拠点名	▶ 拠点名	HRMOS勤怠の拠点名をそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランク ● 拠点名の文字数上限半角20文字を超えている ● [機能設定]>[HRMOS経費 環境設定]に設定された使用禁止文字が含まれている ● 登録済の他の拠点名と重複している
	並び順	▶ 表示順	HRMOS勤怠の並び順をそのまま取込	● 0～32767以外の値
部門 マスタ	部門ID	▶ 部門コード	HRMOS勤怠の部門IDをそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● 部門コードの文字数上限半角7文字を超えている ● HRMOS勤怠連携以外で既にHRMOS経費上で登録済の部門コード
	部門名	▶ 部門名	HRMOS勤怠の部門名をそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランク ● 略称の文字数上限半角30文字を超えている ● [機能設定]>[HRMOS経費 環境設定]に設定された使用禁止文字が含まれている
		▶ 略称		
社員 情報	社員番号	▶ ユーザーID	HRMOS勤怠の社員番号をそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランク ● 全角文字・全角数字が含まれている ● ユーザーIDの文字数上限半角10文字を超えている ● [機能設定]>[HRMOS経費 環境設定]に設定された使用禁止文字が含まれている ● ユーザーIDの以下使用禁止文字が含まれている <ul style="list-style-type: none"> ● / ¥ : * ? " < > # { } % & ~ ● 連続したピリオド 例 : te.....st ● 最後のピリオド 例 : test. ● 先頭のピリオド 例 : .test ● HRMOS勤怠連携以外で既にHRMOS経費上で登録済のユーザーID
	名字	▶ 氏名	HRMOS勤怠の名字と名前を連結して取り込み	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランク ● 氏名の文字数上限半角20文字を超えている ● [機能設定]>[HRMOS経費 環境設定]に設定された使用禁止文字が含まれている
	名前			
	名字カナ	▶ フリガナ	HRMOS勤怠の名字カナと名前カナを連結し半角カナに変換して取込	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランク ● フリガナの文字数上限半角20文字を超えている ● [機能設定]>[HRMOS経費 環境設定]に設定された使用禁止文字が含まれている
	名前カナ			
	部門ID	▶ 部門コード	HRMOS勤怠の部門IDをそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● 部門コードの文字数上限半角7文字を超えている ● HRMOS勤怠連携以外で既にHRMOS経費上で登録済の部門コード
	メールアドレス	▶ メールアドレス	HRMOS勤怠のメールアドレスをそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● メールアドレスの文字数上限半角100文字を超えている ● [機能設定]>[HRMOS経費 環境設定]に設定された使用禁止文字が含まれている
	拠点ID	▶ 拠点コード	HRMOS勤怠の拠点IDをそのまま取込	<ul style="list-style-type: none"> ● ブランク ● 1～256以外の数値 ● HRMOS勤怠連携以外で既にHRMOS経費上で登録済の拠点コード

1. HRMOS勤怠の社員番号の登録

HRMOS勤怠の社員番号が、HRMOS経費のユーザーIDとして登録されます。前頁記載の通り、HRMOS経費のユーザーIDとして取り込めない場合があります。以上をふまえ、以下を参考にHRMOS勤怠の社員番号を登録してください。

HRMOS勤怠		HRMOS勤怠マスター取込の利用に際したHRMOS勤怠の社員番号の登録
利用状況	利用中のログインID	
利用中	以下のいずれにも該当しない <ul style="list-style-type: none"> ● 11文字以上 ● 以下文字が含まれている <ul style="list-style-type: none"> ● / ¥ : * ? " < > # { } % & ~ ● 連続したピリオド <ul style="list-style-type: none"> 例 : te.....st ● 最後のピリオド <ul style="list-style-type: none"> 例 : test. ● 先頭のピリオド <ul style="list-style-type: none"> 例 : .test 	HRMOS勤怠にて利用中のログインIDをHRMOS経費のユーザーIDとして利用できるよう、HRMOS勤怠の社員番号には、HRMOS勤怠のログインIDと同じ文字列を登録する運用を推奨します。
	以下のいずれかに該当する <ul style="list-style-type: none"> ● 11文字以上 ● 以下文字が含まれている <ul style="list-style-type: none"> ● / ¥ : * ? " < > # { } % & ~ ● 連続したピリオド <ul style="list-style-type: none"> 例 : te.....st ● 最後のピリオド <ul style="list-style-type: none"> 例 : test. ● 先頭のピリオド <ul style="list-style-type: none"> 例 : .test 	HRMOS勤怠にて利用中のログインIDはHRMOS経費のユーザーIDとして利用できません。別途、HRMOS経費のユーザーIDとして使いたい10文字以内の文字列を、HRMOS勤怠の社員番号に登録してください。 または、HRMOS経費の利用開始を機にHRMOS勤怠のログインIDを変更できる場合、HRMOS勤怠のログインIDを左記のいずれにも該当しない文字列に変更し、HRMOS勤怠の社員番号にはHRMOS勤怠のログインIDと同じ文字列を登録する運用を推奨します。
これから利用開始	-	HRMOS勤怠にて利用するログインIDをHRMOS経費のユーザーIDとして利用できるよう、HRMOS勤怠のログインIDと社員番号には同じ10文字以内の文字列を登録してください。 HRMOS勤怠のログインIDを11文字以上としたい場合は、HRMOS勤怠にて利用中のログインIDはHRMOS経費のユーザーIDとして利用できません。別途、HRMOS経費のユーザーIDとして使いたい10文字以内の文字列をHRMOS勤怠の社員番号に登録してください。

2. HRMOS勤怠の社員番号の運用

HRMOS勤怠の社員番号を変更後にHRMOS経費側でHRMOS勤怠マスター取込を操作すると、変更された社員番号はHRMOS経費において新規ユーザーとして登録されます。

HRMOS勤怠の社員番号の変更は控えてください。

3. HRMOS勤怠の拠点登録

HRMOS勤怠の拠点IDは一度登録すると変更・削除できません。HRMOS勤怠の拠点IDが連携されるHRMOS経費の拠点コードには1～256以外の数値は登録できないため、HRMOS勤怠に登録する拠点数が256を超えないよう、利用予定の無い拠点の追加は控えてください。

4. 取込の上限

HRMOS勤怠の社員・拠点・部門あわせて10,000件以上のデータは取り込めません。

5. HRMOS経費のパスワード

HRMOS勤怠のパスワードはHRMOS経費には取り込めません。HRMOS勤怠マスター取込で登録されたHRMOS経費ユーザーのパスワードの初期値は、HRMOS経費のユーザーIDと同じ文字列が登録されます。HRMOS経費のパスワードは、HRMOS経費のユーザーマスターにて管理してください。

本機能の利用に必要な設定の詳細は、以下のサポートサイト記事をご確認ください。

※サポートサイトを開いた状態でクリックしてください

[HRMOS勤怠マスター取込](#)